

# 議 会 かながわ

令和5年 第1回定例会  
(2月13日から3月15日まで)

No.178 令和5年(2023年)  
5月10日(水)発行



県議会ホームページ <https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/>

神奈川 検索  
編集・発行・お問合せ 議会局政策調査課  
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1  
電話 (045) 210-1111 (代表) (045) 210-7564 (直通)  
FAX (045) 210-8907



緑のハートのマーク は、県議会のマークです。緑は神奈川県を自然を表し、開かれたハートは、県議会の活動で県民の皆さまの心をつなぐたいという、願いが込められています。

神奈川県議会 Facebook 公式アカウント 皆さまのフォローをお待ちしております！



## 神奈川県警察功労者表彰式に出席

2月3日に県立音楽堂で開催された神奈川県警察功労者表彰式に、議長が出席しました。

この表彰式は、多年にわたり本県警察職員として尽力されてきた功労者を表彰するもので、令和4年度は、永年勤続優良警察職員997名、各分野において顕著な功労のあった優秀警察職員及び公安委員会優秀警察職員105名、さらに警友会功労として個人162名及び45団体の皆さまが、受賞されました。

議長は、受賞者の方々を称えるとともに、「皆さまのこれまで培ってこられた見識と能力をさらに発揮して、県民の命と暮らし、そして地域の将来、子どもたちの明日を支えていただきますよう心からお願い申し上げます。」とあいさつしました。



あいさつをするしきだ議長

## 令和5年度当初予算などを可決

令和5年第1回神奈川県議会定例会は、2月13日から3月15日まで開かれました。

3月15日には、歳入の増減や歳出不用額の見込み等について所要の措置を講じるための総額1,774億9,200万円の令和4年度2月補正予算と、国の「令和4年度補正予算(第2号)」等への対応が必要な事業について、所要の措置を講じるための総額168億4,900万円の令和4年度2月補正予算(その2)などの令和4年度関係議案を可決しました。

また、令和5年4月に知事選挙が実施されることから、骨格予算として編成された、総額4兆6,815億1,200万円の令和5年度当初予算を可決しました。この予算は、新型コロナウイルス感染症との共存を前提とした感染症対策に取り組むとともに、脱炭素社会の実現や人口減少社会における次世代育成など喫緊の課題への対応や、当事者目線の障害福祉推進条例に基づき、障がいに対する理解促進を進め、障がい者の地域生活移行等を推進し、共生社会の実現を目指すものです。さらに、水防災戦略の推進、県立教育施設や老朽化した県有施設の整備など、県民生活に直結する事業を着実に実施していくものです。このほか、神奈川県職員定数条例の改正などの令和5年度関係議案を可決しました。

## 令和4年度2月補正予算(その2)の主な内容

事業概要	予算額
<b>県内消費喚起対策事業(かながわPay第3弾)</b> 消費者の購買意欲を喚起し、県内事業者を支援するため、キャッシュレス決済のポイント還元を実施	55億円
<b>観光需要喚起策実施事業</b> 新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ観光需要を喚起するため、神奈川県内の旅行に対する割引である全国旅行支援「いざ、神奈川!(第2弾)」を追加で措置	8億4,425万円
<b>消費者行政強化事業</b> 霊感商法を含む消費者トラブルの未然防止と救済を図るため、「消費者ホットライン188」の普及への取り組みと、相談体制の強化等を行う市町村に対する補助を実施	2,084万円
<b>公共事業の追加</b> 国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に対応し、県として風水害対策の強化に取り組む「神奈川県水防災戦略」の更なる推進等を図るため、追加の公共事業を実施	85億6,146万円

## 令和5年度当初予算の規模

区分	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	対前年度比
一般会計	2兆2,616億円	2兆3,448億円	96.5%
特別会計	2兆2,559億円	2兆1,162億円	106.6%
企業会計	1,638億円	1,574億円	104.1%
総 額	4兆6,815億円	4兆6,185億円	101.4%

(注)この表は、億円未満を切り捨てて表示したため、総額に一致しません。

## 可決した 主な条例案の 概要

### ● 神奈川県子ども・子育て基金条例(制定)

子どもが健やかに成長し、県民が安心して子どもを産み育てることができる社会の実現を目指し、子ども・子育て施策の推進に必要な資金を積み立てるため、基金の設置、管理及び処分に関する条例案を審議し、制定しました。

### ● 認定こども園の要件を定める条例(改正)

内閣府・文部科学省・厚生労働省告示の一部改正等に伴い、幼保連携型認定こども園以外の認定こども園について、園児の所在確認と送迎バスへの安全装置の装備を義務付けられること等を踏まえた条例案を審議し、改正を行いました。

## 主な活動〈第1回定例会〉



# 代表質問

## 2月16日木・17日金・20日月

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、5月中旬発行予定の神奈川県議会会議録をご覧ください。

会派名・選挙区は、質問時点のものです。質問順は左上から下に続きます。



おさだ しんじ  
**長田 進治**  
自民党  
海老名市

### 県税収入見込みと予算編成方針

**問** 令和5年度県税収入をどう見込み、前年度当初予算比770億円の増収をどう評価しているのか。また、令和5年度当初予算をどのような考え方で編成したのか、知事の見解を伺う。

**答** 個人消費の持ち直しや企業収益の増等から増収を見込んだが、原材料高、歴史的円安等の特殊要因があり、増収の継続は不透明である。当初予算は「持続可能な神奈川の推進」に向け、喫緊の課題への対応と、令和4年度の増収増を活用し必要な財源を基金に組み込み、中長期的な視点に立った財源確保を両立させた予算編成を行った。

### 豊かな神奈川づくりに向けた総合計画の在り方

**問** かながわグランドデザインの点検で、これまでの政策の基本方向をどう評価し、今後どう基本構想を描くべきと考え、また、実施計画の在り方をどう考えて

いるのか、知事の見解を伺う。

**答** 政策や取り組みの方向性は妥当との総合計画審議会からの評価もあり、取り組みの方向性は適切であったと考えている。令和5年度、基本構想の見直しと併せ、実施計画の見直しに着手する。グランドデザインの点検で明らかになった課題に対応するとともに、長期的なビジョンを県民とともに描いていくため、審議会や県議会での議論、県民、企業、各団体と丁寧な対話を行いながら、新しい総合計画を作り上げていく。

### 新型コロナウイルスの出口対応

**問** 新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に変わり、様々な変化が生じるが、県民生活への影響も含め、どう対応していくのか、知事の見解を伺う。

**答** 県民の不安に対し、身近な医療機関で受診可能となるよう医療機関への積極的な患者の受入依頼や、高額な医療費負担への国の支援継続を求める。県民生活への影響を最小限に抑え、感染症法上の類型見直しによる、ウィズコロナの新たなステップを踏み出していく。

このほか

脱炭素社会実現の取り組み、子ども・子育て施策の充実、当事者目線の障害福祉推進条例基本計画策定、急傾斜地崩壊対策などについて質問しました。



さいとう  
**斎藤 たかみ**  
立憲民主党・民権クラブ  
川崎市高津区

### 宗教の信仰等に係る児童虐待対応及び靈感商法等の被害救済

**問** 宗教の信仰等に関する児童虐待への対応及び靈感商法や法人等からの不当な寄付の勧誘等による被害の防止や救済を図るための国の通知を受け、どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

**答** 児童虐待への対応は、国の通知を児童相談所間で共有し、的確に対応する。靈感商法等の相談対応は、3月にLINE等による動画配信で相談窓口の周知を強化する。このほか、令和5年度から改定に着手するかながわ消費者施策推進指針で靈感商法等の対応を検討する。

### 感染状況を踏まえた5類移行への対応

**問** 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが見直される一方、第8波での多数の死亡者の発生状況をどう捉えているのか。また、5類移行後も、高齢者などハイリスクの方への対応は重要と考えるが、知事の見解を伺う。

**答** 高齢者施設への集中検査や往診治療の徹底などの取り組みもあり、死亡者数の増加率は、全国平均の1.5倍に対して、1.2倍と小さくなっている。亡くなられた方が多かったことは誠に残念だが、医療が必要な方への対応はできていたと考える。5類移行後も、高齢者施設等への検査、保健所体制の強化や、医療と介護の連携を図る制度の構築を国に求めている。

このほか

知事の4年間の政策総括、財政運営、保育所等における不適切な保育への対応、小児医療費助成制度などについて質問しました。



かめい  
**亀井 たかつぐ**  
公明党  
横須賀市

### 県営団地への子育て世帯の入居

**問** 県営団地への子育て世帯の入居促進に、どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

**答** 子育て世帯を広く支援する観点から、子育て世帯向け住宅の入居資格を「中学生までの子どもがいる世帯」から「18歳未満の子どもがいる世帯」にまで拡大するよう検討する。

### 県立特別支援学校における医療的ケア児<sup>※1</sup>への支援

**問** 県立特別支援学校において、医療的

ケア児がより安全に安心して学べる環境を整えるため、医療的ケアの体制整備及び通学支援について、どう取り組んでいくのか、教育長の見解を伺う。

**答** 令和4年度から看護師が1対1で対応できる体制を強化し、令和5年度も増員する。また、救急救命士の資格を持つ事務職員がケアに従事する取り組みを昨年10月から始めた。通学支援のため、令和4年度、福祉車両を活用する取り組みを県内5地区10校で試行し、保護者から負担が大きく軽減したとの評価の声がある。令和5年度は、通学支援が必要なケア児が在籍する17校全てに拡大する。

このほか

関東大震災100年を節目とした災害対策強化、犯罪被害者等への支援、共生社会の実現に向けたメタバース<sup>※2</sup>の活用などについて質問しました。

### インターネット中継のご案内

代表質問、一般質問の様子は、インターネット中継でもご覧いただけます。

神奈川県議会 ネット中継

検索

[https://kanagawa-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai\\_list&kaigi\\_id=1](https://kanagawa-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_list&kaigi_id=1)



いさか しんや  
**井坂 新哉**  
共産党  
横須賀市

### 国や県の物価高騰対策

**問** 消費税減税や年金引き上げ、中小企業の賃上げ政策の実施などを国に求め、また、県として国民健康保険料の引き下げなどを行うべきだが、知事の見解を伺う。

**答** 消費税減税と年金引き上げを国に求める考えはない。賃上げ政策については、全国知事会から国に要望している。

また、国民健康保険料の引き下げは困難だが、国に財政支援策を求めていく。

### 敵基地攻撃能力の保持

**問** 政府は安保3文書<sup>※3</sup>を改定したが、敵基地攻撃能力の保持、米軍との一体化での集団的自衛権の行使について、どう考えるのか、知事の見解を伺う。

**答** 国民のいのちと平和な暮らしを守るものと受け止め、県民の安全・安心の確保にも寄与すると認識している。

このほか

横浜ノース・ドックへの新部隊編成、PFAS(有機フッ素化合物)、気候危機対策、生活保護費の引き上げなどについて質問しました。



こんどう だいすけ  
**近藤 大輔**  
かながわ県民・民主フォーラム  
逗子市・葉山町

### 相模湾における藻場の再生

**問** 水産業の振興と脱炭素社会の実現に大きく貢献する藻場の再生に、どう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

**答** 水産技術センターに早熟カジメの種苗を大量に生産する施設を新たに整備し、併せて漁業者や市民団体等を対象に技術研修を行う。また、早熟カジメを育成する民間企業を支援していく。

### フリースクール等と連携した不登校対策

**問** フリースクール等の知識や経験を小中学校等と共有し、不登校の子どもたちへの支援に生かしてもらいたいが、どう取り組むのか、教育長の見解を伺う。

**答** 経験や知見を小中学校や市町村教育委員会と共有し、不登校の未然防止に生かすため、特色ある取り組みのフリースクール等への委託を継続したい。

このほか

公立中学校における部活動の地域移行、中小企業の事業継続に向けた金融支援、公契約条例の制定などについて質問しました。



わたなべ のりゆき  
**渡辺 紀之**  
自民党  
伊勢原市

### 社会経済状況の変化に対応しようとする中小企業支援

**問** 今定例会に提案されている令和5年度当初予算案を含め、今後どう支援していくのか、知事の見解を伺う。

**答** 中小企業の脱炭素化に向けて、ワンストップ窓口を新設し、制度融資を拡充する。また、ビジネスモデル転換への補助では、コロナ禍や物価高騰を乗り越えようとする中小企業の取り組みに加え、賃上げや脱炭素化に向けた取り組みも支援する。さらに、廃業を検討せざるを得ない事業者に対しては、従業員

の継続雇用のための人件費や、専門家への相談費用を補助する。

### 河川事業の推進

**問** 河川事業の推進に、今後どう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

**答** 遊水地等の整備について、引き続き、次期水防災戦略に位置付け、完成時期の前倒しを図り、完成前でも部分的に水を貯められるよう工夫し、氾濫の危険性を軽減する。また、河川改修を進めている現地や、多くの人が訪れる庁舎のロビーなどで、過去の氾濫時の状況や、事業の完成イメージなどを動画等で紹介し、事業の必要性や進捗状況を分かりやすく広報する。

このほか

今後の観光振興施策、歯及び口腔の健康づくり推進条例の改正、県警察における組織体制強化、埋蔵文化財の活用などについて質問しました。



こばやし だいすけ  
**小林 大介**  
立憲民主党・民権クラブ  
相模原市南区

### 神奈川らしい少子化対策・子育て支援策の拡充

**問** 神奈川独自の、神奈川らしい少子化対策・子育て支援策の拡充にどう取り組むのか。また、日常生活で困難な課題を抱える家庭の子どもたちの生活支援の拡充について、知事の見解を伺う。

**答** 基金設置条例案を提案、基金積立金80億円を計上し、実効性ある施策を練

り上げていきたい。また、子ども食堂の活動充実、スクールカウンセラーなどの配置拡充、SNSでの相談やメタバース活用の居場所づくりを進めていきたい。

### 予算規模拡大の中での県債管理目標

**問** 県債残高を減少させる取り組みをどう評価しているのか、知事の見解を伺う。

**答** 収支バランスを図りながら県債を発行したことで、平成26年度から約6千億円縮減し、着実に成果を上げてきた。

このほか

行政改革の推進、さがみロボット産業特区における技術革新支援の取り組み、当事者目線の障害福祉推進条例の普及啓発などについて質問しました。



# 一般質問

## 2月22日水・24日金・27日月

会派名・選挙区は、質問時点のものです。質問順は左上から下に続きます。

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、5月中旬発行予定の神奈川県議会会議録をご覧ください。

**新堀 史明** 自民党 横浜市南区  
**県内消費喚起事業「かながわPay」※4**

**問** かながわPayのこれまでの成果と課題をどう認識し、第3弾をどう進めていくのか、知事の見解を伺う。

**答** 加盟店の開拓や高齢者への説明会等を行った結果、多くの県民が参加し、消費額は1,500億円を超え県内の景気上昇に貢献した。第3弾では子育て用品を扱う店舗の参加を促し、子育て中の方々への広報を強化していく。遅くとも夏頃までには開始し、決まり次第、アプリ等で周知する。

**このほか** 横浜市内の米軍基地に関する取り組み、ゲーム障害対策の推進、三浦半島地域の活性化などについて質問しました。

**田中 信次** 自民党 横浜市泉区  
**少子高齢化が進行する中での県庁の人材確保対策**

**問** 人材確保に向け、就職氷河期世代を含む中途採用の推進について伺う。また、職員の離職防止のため、育児・介護を抱える職員が安心して働き続けられるよう、多様な働き方の推進が必要と考えるが、知事の見解を伺う。

**答** 令和5年度も就職氷河期世代向けの採用試験を実施する。また、1日あたりの勤務時間を最長約4時間にまで変動可能なフレックスタイム制度を令和5年度から導入したい。

**このほか** 多子世帯への子育て支援の充実、結婚支援「恋力!NEXT」、公立小中学校でのフッ化物洗口※5の推進などについて質問しました。

**国松 誠** 自民党 藤沢市  
**相鉄いずみ野線の延伸**

**問** 相鉄いずみ野線の湘南台駅からツインシティ方面への延伸は、沿線地域に不可欠な交通基盤であり、まちづくりを着実に進めるためには市や地元との調整が重要だが、今後どう取り組むのか、県土整備局長の見解を伺う。

**答** 鉄道事業の採算性向上に向け、建設コスト縮減や広域的バス網の再編などについて藤沢市と検討を深め、鉄道に係る検討状況を検討協議会を通じて地元等に示し情報共有に努める。

**このほか** 横浜湘南道路の整備、農業の生産基盤整備と担い手確保、水産業の活性化へ向けた漁業者支援などについて質問しました。

**米村 和彦** 立憲民主党・民権クラブ 平塚市  
**金目川水系の河川整備**

**問** 平塚市域における金目川水系の河川整備について、今後どう取り組むのか、県土整備局長の見解を伺う。

**答** 金目川下流部の護岸整備を進めており、地元調整が整った箇所を整備を急ぐ。また、堆積土砂の残された箇所は、優先すべき箇所を見極めながら工事を進める。さらに、支川の河内川で川幅を拡げる対策を講じる必要があり、平塚市の浸水対策と連携し、工程の短縮に努める。

**このほか** 新たな病害虫の発生に対する被害防止、ひきこもり支援、観光危機管理、食品ロス削減対策などについて質問しました。

**中村 武人** 立憲民主党・民権クラブ 横浜市神奈川区  
**新型コロナウイルス感染症医療従事者の顕彰**

**問** 新型コロナウイルス感染症の対応に尽力した医療従事者への顕彰として、感謝の気持ちを伝え、引き続き応援する姿勢を示すことが必要と考えるが、知事の見解を伺う。

**答** 医療従事者に感謝の気持ちを伝え、負担軽減を図るため、コロナに対応する医療機関が、勤務環境改善として休憩室整備等の福利厚生を充実する場合の支援金の給付や、潜在看護師等を雇用する場合にも支援を行いたい。

**このほか** ふるさと納税、高齢の外国籍県民の生活サポート、今後のSDGs施策、総合計画の在り方などについて質問しました。

**高橋 栄一郎** 自民党 横浜市保土ヶ谷区  
**国際園芸博覧会※9に対する県の取り組み**

**問** 国際園芸博覧会の成功に向け、県内への経済波及効果を高めるための取り組みについて、知事の見解を伺う。

**答** 花き園芸の振興だけでなく、観光消費等広く県域の経済活性化につながるよう、全庁横断的な「国際園芸博覧会検討会議」で、来場者の県内への周遊を促す魅力的な観光ルートの提案など、市町村とも連携して、効果的な取り組みを検討した上で、必要な推進体制の在り方も考える。

**このほか** 政令市連続立体交差事業への県の支援、市販薬オーバードーズ※10防止策、消防団の災害対応力強化などについて質問しました。

**藤井 深介** 公明党 平塚市  
**人工透析が必要な高齢者への支援**

**問** 人工透析が必要な高齢者の特別養護老人ホームへの入所促進に向けて、どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

**答** 透析患者の通院支援は介護報酬に算定されず、経営的に大きな負担となるため、施設の負担を介護報酬で評価するよう国に要望している。また、受け入れている施設の好事例を医療・介護関係団体等が参加する会議で共有し、透析患者の受け入れに向け、意見交換を行っていく。

**このほか** マイナンバーカードの普及に向けた市町村支援、ペットロスへの対応、大神地区周辺の道路整備などについて質問しました。

**細谷 政幸** 自民党 相模原市南区  
**かながわブランドなど県内産農林水産物の魅力発信**

**問** 県内産の農林水産物の利用拡大を図るために、今後どう魅力の発信に取り組むのか、環境農政局長の見解を伺う。

**答** 対面販売で直接PRする機会を増やすほか、調味料メーカーと連携してレシピを開発し、スーパー等で県産食材と一緒に陳列して食べ方を提案するなど販売方法を工夫していく。また、市町村と協力し、地場産品を取り扱う販売店や飲食店を直接訪問し、県産品の利用を働き掛けていく。

**このほか** リニア中央新幹線の県内駅への停車本数確保、マイナンバーカードの安全性、EV※6・FCV※7の普及などについて質問しました。

**杉本 透** 自民党 南足柄市・足柄上  
**山梨・静岡・神奈川三県サミットの開催**

**問** 平成28年12月を最後に、近年、開催されていない山梨・静岡・神奈川三県サミットの開催について、どう考えているのか、知事の見解を伺う。

**答** 富士箱根伊豆地域の観光振興や、防災対策など、三県共通の広域的行政課題の解決に向け取り組んできた。個々の課題の実務レベルでの連携を進める中で、三県共通の重要な行政課題が新たに生じた際は、サミットの開催も検討したい。

**このほか** 流域下水道の下水汚泥の肥料化、大野山乳牛育成牧場廃止後の跡地等管理、酒匂川の堆積土砂対策などについて質問しました。

**石田 和子** 共産党 川崎市高津区  
**子どもの健やかな育ちと安全を守る保育士の配置基準**

**問** きめ細かな目配りにより十分に安全が確保できる環境になるよう、1歳児と4、5歳児の配置基準の改善が必要であり、国に要望すべきと考えるが、知事の見解を伺う。

**答** 法令上の配置基準の引き上げに加え、公定価格の加算も含め、全国知事会が改善要望を行ったと承知している。その要望内容は本県の要望の趣旨も含まれるため、県単独で国へ要望することは考えていないが、国の動向を注視していく。

**このほか** 県民のいのちを守る医療体制、加齢性難聴者の補聴器購入への公的補助、平瀬川の防災・水害対策などについて質問しました。

**くさか 景子** 立憲民主党・民権クラブ 茅ヶ崎市  
**海洋プラスチック問題**

**問** 県民や事業者へのアピールを含め、研究成果を今後の施策にどう役立てるのか、環境農政局長の見解を伺う。

**答** プラごみ流出防止対策をプラスチック資源循環推進等計画に位置付け、市町村と連携した普及啓発に取り組む。また、フォーラム等での研究成果の紹介や、小学生向け映像教材等に取り上げ、研究成果等を発信し、事業者や県民が自分事として、ごみ削減を意識できるよう取り組む。

**このほか** 意思決定支援の推進とお友達プロジェクト※8、里親の養育支援、安心して子どもが産める環境整備などについて質問しました。

**松長 泰幸** 県議会 藤沢市  
**道の駅設置に係る市町村への支援**

**問** 道の駅の設置を検討しようとする市町村に対し、県は、どう支援していくのか、県土整備局長の見解を伺う。

**答** 「道の駅相談窓口」において、土地利用規制にどう対応するかなど、道の駅設置に際し必ず直面する課題について、構想初期の予定地を選定する段階から丁寧に意見交換を行い、支援する。また、災害時の地域の支援拠点として、いかに有効活用していくのか助言していく。

**このほか** 湘南東部医療圏をはじめとした看護師の確保、出産・育児支援の充実、辻堂海浜公園の津波避難対策などについて質問しました。

**菅原 直敏** かながわ県民・民主フォーラム 大和市  
**「旅育」について**

**問** 旅を通じた教育が子供たちに与える影響について、教育長の所見を伺う。

**答** 旅を通じた教育である修学旅行は、新たな発見や仲間との交流などを通じて、自らの価値観を広げ自己肯定感を育む「旅育」の第一歩と考える。子供たちの修学旅行への思いも受け止め、学びとともに、ふれあいや交流を図れる場となるよう、その意義を学校と共有していく。

**このほか** 共生社会理念の自治基本条例への反映、地域での福祉・医療等のデジタル技術も活用した情報共有の電子化などについて質問しました。

## 用語解説

2面 3面

### ※1 医療的ケア児

生活する中で医療的ケアを必要とする子どものこと。医療的ケアとは、たんの吸引や鼻などから管を通して栄養剤を流し込む経管栄養など、在宅で家族が日常的に行っている医療的助行為のことで、医療行為と区別している。

### ※2 メタバース

インターネット上の仮想空間。利用者はアバター(自分自身の分身)を操作して他者と交流するほか、仮想空間上での商品購入といった試験的なサービスも行われている。

### ※3 安保3文書

日本の国家安全保障に関する基本方針である「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」及び「防衛力整備計画」の3つの文書のこと。

### ※4 かながわPay

消費者の購買意欲を喚起し、県内事業者を支援するため、県内の小売店などで、専用アプリ「かながわPay」を通じた決済サービスで代金を支払った際に、ポイントを消費者に還元する事業のこと。

### ※5 フッ化物洗口

むし歯予防のための、フッ化物水溶液を用いたぶくぶく

くうがいのこと。フッ化物(フッ素)は、歯の質を強くしたり、むし歯の原因菌の活動を抑える働きなどがある。

### ※6 EV

Electric Vehicle の略。電気自動車のこと。

### ※7 FCV

Fuel Cell Vehicle の略。燃料電池自動車のこと。

### ※8 お友達プロジェクト

意思決定支援の取り組みの一つで、津久井やまゆり園等の利用者や対等な「お友達」関係を築くことで、障がいのある方が意思を表に出しやすい環境づくりを目指す、施設入所者個別交流促進事業における取り組みのこと。

### ※9 国際園芸博覧会

国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に、国際園芸家協会の承認に加え、国際博覧会に関する条約に基づく博覧会国際事務局の認定を受けて開催される国際的な博覧会のこと。2027年に横浜市の旧上瀬谷通信施設(米軍施設跡地)で開催される。

### ※10 オーバードーズ

薬物を過剰に摂取することを指す。一時的な高揚感などを求め、市販薬などを過剰摂取する行為が社会問題となっている。副作用による身体への悪影響や依存症になってしまうなどの懸念があり、最悪の場合、死に至るケースもある。

## Facebookのご案内

フェイスブックページでは、本会議の代表・一般質問の様子や議長の活動など、県議会の情報を発信しています。皆さまのフォローをお待ちしています。

Facebook 神奈川県議会

アカウント名:「神奈川県議会」



<https://www.facebook.com/kanagawapref.gikai/>

# 予算委員会

3月8日(水)・9日(木)

第1回定例会では、令和5年度の予算等とその関係議案を審査する予算委員会が3月8日、9日の2日間にわたって開催されました。その主な質疑と答弁の要旨、質疑に関連した事業の概要を掲載します。

全文は、「令和5年第1回神奈川県議会定例会予算委員会記録」(5月中旬に県議会ホームページで公開予定)をご覧ください。



## 県政全般

**問** 令和5年度当初予算の基本的な考え方について伺う。

**答** 4月に知事選挙があるため、義務的経費を中心とした骨格予算として編成したが、そうした中であっても、新型コロナウイルスとの共存を前提とした感染症対策に加え、喫緊の課題などに対応するために必要な経費を計上し、持続可能な神奈川を推進するための予算とした。

脱炭素社会の実現や人口減少社会における次世代育成、共生社会の実現を目指すとともに、県民生活に直結する事業を着実に進めていく。

**問** 物価高騰の長期化などにより景気動向が不透明な中であっても、喫緊の課題や中長期的な取り組みにしっかりと対応する必要があるが、今後の財政運営について伺う。

**答** 脱炭素や次世代育成、県有施設の老朽化対策といった当面継続して実施すべき事業の後年度財源を基金に積み立てている。こうした対策を講じた上で、今後、景気動向の急激な悪化や災害対応など、社会経済環境が大きく変化した場合には、必要に応じて財政調整基金<sup>\*1</sup>を活用していきたい。

## 未病改善の取り組み及び地域医療体制の整備

**問** 医師の働き方改革と地域医療提供体制の確保の両立に、どう取り組んでいくのか。

**答** 各医療機関が個別に進めてきた医師の働き方改革の状況を、地域ごとに共有し、あわせて、各地域の救急医療の現状を示すデータなども共有し、地域医療体制確保のための議論につなげる。こうしたことにより、医師の総労働時間が減少する中、地域医療を守るため、各医療機関がどのような役割を担うべきか、まずは関係者と問題意識を共有していく。

主な事業	働く世代の女性の運動促進事業費	5,397万円
	医療従事者勤務環境改善等支援事業費	5億3,700万円
	回復期病床等転換施設整備費補助	12億8,258万円
	循環器病対策事業費	3,160万円

## 新型コロナウイルス感染症対策

**問** 新型コロナウイルス感染症の5類移行も踏まえた、コロナ禍における財政運営について伺う。

**答** 5類移行後も、新型コロナウイルスそのものが消滅するわけではなく、コロナとの共存を前提に様々な施策に取り組んでいく必要があるため、引き続き、確実な財源措置が行われるよう、国に対して要望していく。県としては、コロナ禍からの回復に併せて、財政健全化にも着実に取り組む。

主な事業	感染症患者入院医療機関等設備整備費補助	62億881万円
	医療機関看護職員等確保・育成支援事業費	1億6,400万円
	新型コロナウイルスコールセンター運営委託費	59億4,036万円
	福祉サービス提供体制への支援	13億8,342万円

## 障がい・高齢福祉施策の推進

**問** 今後、インクルーシブ教育<sup>\*2</sup>実践推進校の校数が拡大される計画となっているが、特別募集で入学した生徒への就労支援の取り組みをどう進めるのか。

**答** それぞれの生徒の進路実現を図るためには、全ての学校において、早い段階から生徒一人一人の進路希望を踏まえた丁寧な相談や指導を進める必要がある。必要な情報提供を継続するとともに、産業労働局など関係機関と連携し、組織的な取り組みを進め、各学校をしっかりと支援していく。

主な事業	相談支援体制の充実	1,534万円
	県立特別支援学校における医療的ケア児支援のための環境整備	2億8,146万円
	障がい者等の文化芸術普及支援	1億172万円
	水産業福祉連携推進事業費	1,600万円

## 常任委員会で質疑された主な項目

### 総務政策 常任委員会

かながわブランドデザイン、水道広域化推進プラン、県内米軍基地を巡る状況、マスク飲食実施店認証制度の在り方などについて質疑を行いました。

### 環境農政 常任委員会

脱炭素社会の実現に向けた取り組み、プラスチックごみ削減に向けた取り組み、家畜伝染病対策、かながわ農業活性化指針などについて質疑を行いました。

### 建設・企業 常任委員会

県内5水道事業者が目指す水道システム再構築の取り組み、県立都市公園の整備、市街地再開発事業、県営水道に係るお客さま意識調査などについて質疑を行いました。

### 防災警察 常任委員会

犯罪被害者支援の取り組み、特殊詐欺被害対策、地震防災戦略、被災地への任期付職員の派遣などについて質疑を行いました。

### 厚生 常任委員会

かながわ自殺対策計画、児童虐待死亡事故、リハビリテーションロボット<sup>\*4</sup>普及推進事業、保育士の処遇改善などについて質疑を行いました。

### 文教 常任委員会

教員の働き方改革の推進、県教育委員会における障がい者雇用の取り組み、医療的ケア児<sup>\*5</sup>の支援、令和6年度再編・統合対象校の設置計画などについて質疑を行いました。

### 国際文化観光・スポーツ 常任委員会

部活動の地域移行、観光振興計画、スポーツツーリズム<sup>\*3</sup>、地域日本語教育、外国人観光客の誘致などについて質疑を行いました。

### 産業労働 常任委員会

中小企業制度融資、障がい者雇用の取り組み、ロボットと共生する社会の実現に向けた取り組み、企業誘致施策の取り組みなどについて質疑を行いました。



### 県内経済・産業の活性化

**問** 交通の利便性や豊富な人材などの優位性を持つ本県として、海外からの企業誘致にどう取り組んでいくのか。

**答** ビジネスや生活環境の魅力を県の海外駐在員による現地での誘致活動などを通じて、しっかりとPRしていく。また、県内に進出した外国企業に対し、丁寧にフォローアップを行い、県内への事業拡大を促すことで、県内経済の活性化と雇用の創出を図っていく。

主な事業	新たな事業展開等に取り組む中小企業者等への補助	76億6,575万円
	ベンチャー企業の創出・成長支援	2億6,444万円
	中小企業ロボット産業参入促進事業費	1億円
	企業立地促進の取り組み	15億2,452万円

### 安全で安心してらせる神奈川の実現

**問** 耐震性の不足が明らかになった場合の大規模盛土造成地の耐震化に、今後どう取り組んでいくのか。

**答** 耐震性が不足し、対策工事が必要なことへの住民の理解と合意が必要である。耐震性の不足については、写真や映像、図や模型を用い説明することで、理解の醸成に努め、耐震工事の必要性については、住民が判断する上で必要な情報を丁寧にお知らせしていく。こうしたことで、住民の理解が進み、一刻も早く工事の実施につながるよう、市町村と連携しながら、しっかりと取り組んでいく。

主な事業	河川改修及び急傾斜地崩壊対策の加速化	172億1,133万円
	大規模災害に備えた「トイレプロジェクト」	3億1,193万円
	宅地造成及び特定盛土等規制法関連事業費	5,100万円
	特殊詐欺被害防止対策事業費	1,274万円

### 脱炭素社会の実現に向けた取り組み

**問** 三浦半島地域における脱炭素の取り組みを、今後どう進めていくのか。

**答** 神奈川県版脱炭素モデル地域に設定した三浦半島地域では、様々な主体が連携して脱炭素の自分事化を図り、脱炭素を推進していくが、地域活性化の取り組みも展開されており、既存の取り組みもモデル事業と連動させる。国の様々な事業を活用するなど、地域の多様な主体を巻き込み、三浦半島地域における脱炭素化と地域の課題解決、活性化を同時に図っていく。

主な事業	中小企業等の脱炭素化への支援	3億2,948万円
	脱炭素の自分事化・普及啓発	5,500万円
	自家消費型再生可能エネルギー導入費補助	9億900万円
	神奈川県版脱炭素モデル地域事業の推進	2,997万円

### 子ども・子育てへの支援

**問** 子育て支援策は様々な分野に関わるものであり、横断的に取り組む必要があるが、どう取り組んでいくのか。

**答** 新たに子育て世代の県職員をメンバーとする結婚・出産・子育て施策を検討するワーキングチームを設置し、当事者目線に立った、効果的な施策を検討していく。子ども・子育て基金を活用した具体的な支援策については、国の次元の異なる少子化対策の動向を注視しつつ、市町村とも調整しながら、実効性のある施策を練り上げていく。

主な事業	小児医療費助成事業費補助	60億800万円
	子ども食堂支援事業費	2,566万円
	ケアラーへの支援	4,551万円
	メタバースを活用した社会参加支援	1,100万円

### 行ってみたい神奈川の魅力づくり

**問** 東海道の魅力を生かした観光振興に、どう取り組んでいくのか。

**答** 本年は、東海道川崎宿起立400年に当たるとともに、大河ドラマ「どうする家康」が放映されるなど、改めて東海道が注目されており、特設ウェブページの作成など誘客につなげる取り組みを行う。東海道の魅力について、地域と連携したプロモーションを行うことで地域の盛り上がりや後押しするとともに、県内周遊を促進し、観光振興につなげていく。

主な事業	県西地域活性化プロジェクト推進費	7,082万円
	観光客受入れのための県立公園等における「トイレプロジェクト」	3億2,600万円
	外国人観光客誘致のための戦略的取り組み	1億761万円
	かながわ産品魅力発信推進事業費	4,067万円

### 県立高校改革等教育環境の整備の推進

**問** 困難を抱える子どもの支援に、公立学校において、どう取り組んでいくのか。

**答** ひとり親家庭で厳しい経済状況に置かれているなど困難を抱える子どもを早期に発見し、必要な支援につなげていくための全国に先駆けた新たな仕組みである「かながわ子どもサポートドック」を実施するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置を大幅に拡充したい。

主な事業	安全・安心のための教育環境の整備	45億7,800万円
	スクールカウンセラー等の配置拡充	8億9,100万円
	業務アシスタント、スクールサポートスタッフの配置	11億568万円
	中学校の部活動の地域移行	3,617万円

## 特別委員会で質疑された主な項目

#### 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

感染状況、感染症法上の位置付けの変更に伴う対応、ワクチン接種、コールセンター、かながわコロナ医療・福祉等応援基金などについて質疑を行いました。

#### 共生社会推進特別委員会

インクルーシブ教育※2の推進、当事者目線の障がい福祉、特別支援教育の推進、ペット・動物との共生などについて質疑を行いました。

#### 安全安心対策特別委員会

県立都市公園の整備・管理、線引き※6制度、リニア中央新幹線の整備、横浜湘南道路・高速横浜環状南線などについて質疑を行いました。

#### 経済・環境対策特別委員会

プラスチックごみ対策、太陽光発電、脱炭素社会の実現に向けた取り組み、電気自動車(EV)等の導入促進などについて質疑を行いました。

#### 次世代育成・デジタル戦略推進特別委員会

ケアラー※7・ヤングケアラー※8への支援、ケアラーバー※9への支援、メンタルヘルス対策の推進、子ども・子育て支援などについて質疑を行いました。



## 用語解説

4面 5面

- ※1 財政調整基金  
地方自治体が、経済事情の著しい変動などによる財源不足に対処する資金を積み立て、年度間の財源の不均衡を調整するために設置する基金のこと。
- ※2 インクルーシブ教育  
共生社会の実現に向け、障がいの有無によらず、できるだけすべての子どもが同じ場で共に学ぶ仕組みのこと。
- ※3 スポーツツーリズム  
スポーツを「観る(観戦)」「する(楽しむ)」ための移動だけでなく、周辺の観光要素や、スポーツを「支える」人々との交流や地域連携も付加した旅行スタイルのこと。
- ※4 リハビリテーションロボット  
リハビリテーションに使用するロボットのこと。神奈川県リハビリテーション病院では、「かながわりハビリロボットクリニック(KRR C)」を設置し、ロボットを活用したリハビリテーションの相談窓口を設置して、相談等に対応している。
- ※5 医療的ケア児  
生活する中で医療的ケアを必要とする子どものこと。医療的ケアとは、たんの吸引や鼻などから管を通して栄養剤を流し込む経管栄養など、在宅で家族が日常的に行っている医療的介助行為のことで、医療行為と区別している。
- ※6 線引き  
おおむね10年後の将来人口予測のもと、都市計画区域について「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」などを都市計画に定めるとともに、無秩序な市街化を防止するため、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域に区分すること。
- ※7 ケアラー  
こころやからだに不調のある人の介護、看病、療育、世話、気づかいなど、ケアに必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする人のこと。
- ※8 ヤングケアラー  
家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている若者のこと。
- ※9 ケアラーバー  
虐待や貧困などのため親元で暮らすことができず、児童養護施設や里親家庭などで育ったことがある、社会的養護経験者のこと。

※新型コロナウイルス感染症対策特別委員会については、1月30日(月)開催の委員会において質疑された項目を掲載しています。



議案と各会派の賛否

令和4年度関係議案

(会派名：左から 自民党、立憲民主党・民権クラブ、公明党、共産党、かながわ県民・民主フォーラム、県政会、わが町、神奈川ネット、横浜瀬谷区の会、さかえの会、秦野の会) ○は賛成×は反対

議案の分類	議案名	審議結果	自民	立憲	公明	共産	民主	県政	わが	神奈	瀬谷	さか	秦野	備考
令和4年度補正予算 (18件)	一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	市町村自治振興事業会計補正予算(第1号)													
	公債管理特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	公営競技収益配分金等管理会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	地方消費税清算会計補正予算(第1号)													
	災害救助基金会計補正予算(第1号)													
	水源環境保全・再生事業会計補正予算(第2号)													
	介護保険財政安定化基金会計補正予算(第1号)													
	国民健康保険事業会計補正予算(第1号)													
	地方独立行政法人神奈川県立病院機構資金会計補正予算(第1号)													
	県営住宅事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	流域下水道事業会計補正予算(第2号)													
	電気事業会計補正予算(第2号)													
	一般会計補正予算(第8号)													
	流域下水道事業会計補正予算(第3号)													
	水道事業会計補正予算(第3号)													
電気事業会計補正予算(第3号)														
相模川総合開発共同事業会計補正予算(第2号)														
条例の制定(1件)	神奈川県子ども・子育て基金条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
条例の一部改正 (8件)	収入証紙に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	神奈川県手数料条例	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例													
	神奈川県手話言語条例													
	介護保険法施行条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	神奈川県建築基準条例													
	神奈川県宅地造成等規制法関係手数料条例													
	神奈川県道路交通法関係手数料条例													
契約(5件)	工事請負契約の締結(県営いちょう下和田団地公営住宅新築工事(建築-第1工区)請負契約)													
	工事請負契約の締結(県営いちょう下和田団地公営住宅新築工事(建築-第2工区)請負契約)													
	工事請負契約の締結(県営伊勢原峰岸団地公営住宅新築工事(1期-建築)請負契約)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	工事請負契約の締結(県営綾瀬寺尾団地公営住宅新築工事(1期-建築-第1工区)請負契約)													
	工事請負契約の締結(横浜緑ヶ丘高校体育館(柔剣道場)他新築工事(建築-第1工区)請負契約)													
その他(4件)	建設事業等に対する市町負担金													
	訴訟の提起	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	和解													
	建設事業に対する市町負担金													
人事(1件)	監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名

可決された意見書【4件】

- 犯罪被害者等支援の抜本的強化を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症の後遺症に対する取組の強化を求める意見書
- 横浜ノース・ドックにおける米陸軍小型揚陸艇部隊の新編に関する意見書
- 都道府県議会議員の選挙制度の見直しを求める意見書

可決された意見書の全文は  
県議会ホームページに掲載しています。

神奈川県議会 意見書  検索  
<https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/p80118.html>

津久井やまゆり園事件  
この悲しみを力に、  
ともに生きる社会を実現します

県立津久井やまゆり園での大変痛ましい事  
件を決して忘れず、真の共生社会の実現に  
向け、継続して取り組んでまいります。

憲章全文は「こちら」

ともに生きる社会  
かながわ憲章

神奈川県議会

令和5年度関係議案

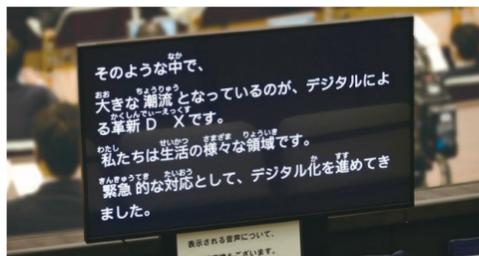
(会派名: 左から 自民党、立憲民主党・民権クラブ、公明党、共産党、かながわ県民・民主フォーラム、県政会、わが町、神奈川ネット、横浜瀬谷区の会、さかえの会、秦野の会) ○は賛成×は反対

議案の分類	議案名	審議結果	自民	立憲	公明	共産	民主	県政	わが町	神奈川	瀬谷	さかえ	秦野	備考
令和5年度予算 (22件)	一般会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	市町村自治振興事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	公債管理特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	公営競技収益配分金等管理会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	地方消費税清算会計予算													
	災害救助基金会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	恩賜記念林業振興基金会計予算													
	林業改善基金会計予算													
	水源環境保全・再生事業会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	沿岸漁業改善基金会計予算													
	介護保険財政安定化基金会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	母子父子寡婦福祉基金会計予算													
	国民健康保険事業会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	地方独立行政法人神奈川県立病院機構基金会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	中小企業基金会計予算													
	県営住宅事業会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	流域下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	電気事業会計予算													
	公営企業資金等運用事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
相模川総合開発共同事業会計予算														
酒匂川総合開発事業会計予算														
条例の廃止(1件)	神奈川県国民健康保険広域化等支援基金条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
条例の一部改正 (20件)	地方税法第37条の2第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	事務処理の特例に関する条例													
	神奈川県職員定数条例	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	特別会計の設置に関する条例													
	神奈川県観光振興条例													
	認定こども園の要件を定める条例													
	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例													
	指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例													
	指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例													
	神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例													
	港湾の設置及び管理等に関する条例													
	土採取規制条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	神奈川県県営住宅条例													
	神奈川県公営企業の設置等に関する条例													
	市町村立学校職員定数条例													
	神奈川県地方警察職員定数条例													
	神奈川県迷惑行為防止条例													
	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例													
認定こども園の要件を定める条例														
幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例														
その他(3件)	建設事業等に対する市町負担金	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	かながわ男女共同参画推進プランの変更													
	包括外部監査契約の締結													

障がいのある方に配慮した県議会の主な取り組み

本会議における音声文字化サービス

障がいなどにより音声聞き取りにくい傍聴者の利便性向上のため、発言をリアルタイムで文字情報化し、傍聴席のディスプレイに表示する試行運用を行っています。



リアルタイムに文字情報を表示する傍聴席設置のディスプレイ

手話通訳の実施

本会議の代表質問日に、議場傍聴席に配置したディスプレイで手話通訳映像をご覧いただけます。また、インターネットでの生中継及び録画配信(後日)や、テレビ放送(神奈川県議会中継・録画)でも手話通訳映像をご覧いただけます。

このほか、YouTube神奈川県議会公式チャンネルで配信している動画では、字幕及び手話通訳映像(一部の動画を除く)をご覧いただけます。



お問い合わせ 政策調査課広報・調整グループ ☎(045) 210-7564 / FAX(045) 210-8907

遠隔操作型分身ロボットの活用

令和4年11月22日(火)に津久井やまゆり園で開催した議会報告会では、遠隔操作型分身ロボット「OriHime」®を活用し、会場に来られない障がい者の方との意見交換を行いました。



©OryLab Inc.

# 新しく選出された議員

4月9日(日)に行われた神奈川県議会議員選挙では、次の105名が県議会議員に選出されました。議会基本条例の理念を踏まえ、今後4年間、県民の皆さまの声を県政に反映させ、より良い未来を築いていくために、精一杯努めてまいります。

選挙管理委員会に届けられた氏名を掲載しています。

<b>横浜市鶴見区</b> 定数：3人 川崎 修平 鈴木 ひでし 木佐木 ただまさ	<b>横浜市金沢区</b> 定数：2人 大村 ゆう 松崎 淳	<b>川崎市川崎区</b> 定数：3人 杉山 のぶお 西村 くにこ さかい 学	<b>相模原市南区</b> 定数：3人 ほそや 政幸 京島 けいこ 阿部 将太郎	<b>秦野市</b> 定数：2人 神倉 ひろあき 谷 かずお
<b>横浜市神奈川区</b> 定数：3人 うめざわ 裕之 片桐 のり子 中村 たけと	<b>横浜市港北区</b> 定数：4人 武田 翔 嶋村 ただし 大山 奈々子 菅原 あきひと	<b>川崎市幸区</b> 定数：2人 田中 徳一郎 市川 よし子	<b>横須賀市</b> 定数：4人 田中 洋次郎 竹内 英明 亀井 たかつぐ 永井 まさと	<b>厚木市・愛川町・清川村</b> 定数：3人 なんば たつや 佐藤 けいすけ さとう 知一
<b>横浜市西区</b> 定数：1人 かとう 元 弥	<b>横浜市緑区</b> 定数：2人 古賀 てるき やなぎした 剛	<b>川崎市中原区</b> 定数：3人 川本 学徳 たきた 孝正 松川 正二郎	<b>平塚市</b> 定数：3人 米村 かずひこ 森 正明 藤井 しんすけ	<b>大和市</b> 定数：3人 藤代 ゆうや 野内 みつえ 谷口 かずふみ
<b>横浜市中区</b> 定数：2人 原 そうすけ 作山 ゆうすけ	<b>横浜市青葉区</b> 定数：4人 赤野 たかし 内田 みほこ 小島 けんいち 青木 マキ	<b>川崎市高津区</b> 定数：3人 小川 くにこ 斉藤 たかみ 日浦 和明	<b>鎌倉市</b> 定数：2人 永田 まりな 飯野 まさたけ	<b>伊勢原市</b> 定数：1人 渡辺 のりゆき
<b>横浜市南区</b> 定数：2人 新堀 ふみあき きしべ 都	<b>横浜市都筑区</b> 定数：2人 しきだ 博昭 すとう たかのぶ	<b>川崎市宮前区</b> 定数：3人 持田 文男 そえだ 勝助 やなせ 吉助	<b>藤沢市</b> 定数：5人 脇松 れい子 長 やすゆき 吉田 あつき 市川 かずひろ おだ 幸子	<b>海老名市</b> 定数：2人 おさだ 進治 相原 しほ
<b>横浜市港南区</b> 定数：2人 桐生 ひであき うらみち 健一	<b>横浜市戸塚区</b> 定数：3人 松田 よしあき 北井 宏昭 森田 学	<b>川崎市多摩区</b> 定数：2人 土井 りゅうすけ 青山 圭一	<b>小田原市</b> 定数：2人 おざわ 良央 佐々木 ナオミ	<b>座間市</b> 定数：1人 芥川 かおる
<b>横浜市保土ヶ谷区</b> 定数：2人 たかはし 栄一郎 もちづき 聖子	<b>横浜市栄区</b> 定数：1人 くすのきりえこ	<b>川崎市麻生区</b> 定数：2人 石川 ひろのり 小林 たけし	<b>茅ヶ崎市</b> 定数：3人 永田 てるじ 平野 みぎわ ます 晴太郎	<b>南足柄市・足柄下</b> 定数：1人 高橋 のぶゆき
<b>横浜市旭区</b> 定数：3人 須田 こうへい いそもと 桂太郎 おのでら 慎一郎	<b>横浜市泉区</b> 定数：2人 田中 しんじ マツモト キヨシ	<b>相模原市緑区</b> 定数：2人 山口 みつお 小田 貴久	<b>逗子市・葉山町</b> 定数：1人 近藤 だいすけ	<b>綾瀬市</b> 定数：1人 つなしま 洋一
<b>横浜市磯子区</b> 定数：2人 あらい 絹世 市川 さとし	<b>横浜市瀬谷区</b> 定数：1人 田村 ゆうすけ	<b>相模原市中央区</b> 定数：3人 河本 文雄 てらさき 雄介 佐々木 正行	<b>三浦市</b> 定数：1人 石川 たくみ	<b>寒川町</b> 定数：1人 山本 哲
				<b>大磯町・二宮町</b> 定数：1人 吉川 さとし
				<b>足柄上</b> 定数：1人 杉本 とおる

第2回定例会は5月から7月にかけて開催予定です。日程が決まり次第、県議会ホームページ等でご案内します。

## III 傍聴のご案内 III 傍聴の受付の際に、住所・氏名をご記入いただきます。車いすをご利用の方も傍聴していただけます。



### 本会議

- 開会** 通常 午後1時(午前10時30分の場合あり)
- 席数** 210席 車いす用スペース3席
- 受付** 県庁新庁舎8階 本会議開会30分前から  
※団体で傍聴を希望される場合は、あらかじめご連絡ください。

### 託児サービス

子育て中の方が安心して傍聴いただけるよう、託児サービスを行っています(無料)。  
小学校就学前までのお子様を対象で、定員は5名程度(先着順)です。利用をご希望の方は、傍聴日の7日前までにお申し込みください。



### 手話通訳

代表質問日には、傍聴席で手話通訳映像がご覧いただけます。  
代表質問日以外に手話通訳をご希望の方は、傍聴日の14日前までにご連絡ください。

**お問合せ** 政策調査課広報・調整グループ  
☎(045) 210-7564 / FAX (045) 210-8907

### 常任委員会・特別委員会

- 開会** 通常 午前10時30分
- 席数** 各委員会16人(開会30分前に定員超過の場合は抽選)
- 受付** 県庁新庁舎5階 議政局  
委員会開催当日午前8時30分から
- お問合せ** 議事課委員会グループ  
☎(045) 210-7546

### 予算委員会

- 開会** 通常 午前10時30分
- 席数** 90人
- 受付** 県庁新庁舎5階 議政局  
予算委員会が開催される定例会の開会日から
- ※開催については、県議会ホームページをご確認ください。  
※空席がある場合は、開催日当日本庁舎4階でも受付。
- お問合せ** 議事課議事グループ  
☎(045) 210-7544

### 県議会を傍聴される方へのお願い

新型コロナウイルス感染症の予防及び防止のため、本会議及び委員会等の傍聴については、手指消毒の実施及び体温測定のご協力をお願いしています。  
また、マスクの着用については、傍聴者の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねることとしています。

### 県庁までのアクセス

- みなとみらい線「日本大通り駅」1番・県庁口からすぐ
- JR京浜東北線(根岸線) / 横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」から徒歩約10分



ご意見・ご感想はこちら 議会かながわ・議会広報全般についての  
ご意見・ご感想を、お寄せください。 ■ 政策調査課広報・調整グループ ☎(045) 210-7564 / FAX (045) 210-8907